

## 2019年すみだダンスフェスティバル講評

2019年1月14日（祝、月） すみだ産業会館

講評者 太田啓典

まず、最初にダンスの講評は私が永年にわたり築いてきた主観と今研究している考えに基づいての感想であることをお断りしておきます。短い時間の中なので思いついた感想を述べたいと思います。

### ノービス級ラテン

45番 50番 53番 107番 109番

### D級ラテン

63番 89番 81番 98番 102番 106番 107番

### C級ラテン

4番 32番 41番 49番 61番 79番 85番 89番

まず大事なことは自分の体のパーツを一つ一つ分解してどのような動き方をするのか理解して欲しいと思います、それと基本的に片足の一本のバランスはないと思います。

例えば、オープンヒップツイストを踊るときに1 2 3 4 1 2 3 4とカウントを言って踊った場合と、ワンエンド ツーエンド スリーエンド フォエンド ワンエンド ツーエンド スリーエンド フォエンドとカウントを言って踊るとどこに自分の体のパーツがあるのかわかるとと思います。その場合体重とバランスが一緒になる時は動いている場合であると理解できるとと思います。脚部と骨盤回り 上体、頭部はバラバラに使われワンエンド ツーエンド スリーエンド フォエンドのどのカウントの時どうなっているのか理解できるとと思います、私は教える時は必ずプロの上級者でもアマチュアの初心者でもこのカウントで音楽に合わせて声を出して踊るレッスンを（英語でもスペイン語 ポルトガル語 イタリア語等でやると又違って音が入るようになります）行っています。

要するにビートの数や動画のコマ数が多いとか画素数が多くなるということです。より細かく鮮明になることだと思ってください。

それともう一つ、二人で踊る場合のポジショニングがはっきり見えないカップルが多くいます例えば、ファンポジション、オープンフェーシングポジション、カンターポジション等、男性と女性がどのような立ち位置をとるとどのように見えるか今風に言えばインスタ映え するかということだと思っています。ボールルームと同じでプロムナードポジション、レンジポジションというようにラテンにも必要です。昔と違って色々なポジション（カップルの個性で）があると思いますので二人で作りに上げていってください。

### B級ラテン

10番 男性は踊りをよくわかっていると思います。女性をリードする時、もうひと呼吸置

いて相手のボディーウエイトを感じてからリードすると広がりが出ていいと思います。

24 番 ボディーリズムがなくラインのみになっています。もっと骨盤回りの筋肉を意識して立てるとリズム感が出ると思います。

44 番 男性が積極的に見え踊り心を感じます、女性のアレマーナの三步目からの男性の左手の使い方を研究してください。パソドブレのpromenadeになる時のリードも同じだと思います。

51 番 男性はボディーリズム、踊り心がありいいと思います。以前よりバランスが下がってきました。女性は力みがありますので骨盤回りで床に立ってほしいです。

全体的に男性の左手の使い方(手のひらと甲の使い方)を使い分けて女性の動きを作っていて欲しいと思います。

#### A 級ラテン

5 番 男性の懐がなく見えます。手を上げてリードする時は自分の腸腰筋や背筋を意識してそれを女性に伝えると立体感が出てくると思います。

17 番 動きの流れが消えるので、リードする最後まで自分の体の筋肉の流れを意識して欲しいと思います。

19 番 クローズドヒップツイストのタイミングがあって見えません。男性の左手の使い方が遅いように思います。踊りは研究されているのが見えて好感が持てます。

ラテンを全体的に見て、立つ時にボディーの腸腰筋、背筋、肩胛骨、つま先、土踏まずアームワーク等を意識して一人で 5 種目を細かいカウントを言えるかどうかという、基本的な考え方ができたその後に、発展的な踊りが(自分に合った個性のある踊り)ができると私は信じています。

#### ノービス級ボールルーム

D 級ボールルーム (W F)

D 級ボールルーム (W T)

に関してはナチュラルターンの 4 歩目、リバースターンの 3 歩目から 4 歩目にかけての動きとタイミングそれに伴う男女の頭、体の位置関係の研究をして欲しいと思います。

#### C 級ボールルーム

ワルツ

52 番 ロアがない 55 番 タイミングが早い 47 番 タイミングが合っていない

58 番 左サイドが折れている 65 番 動きはいい 68 番 右手の位置が悪く女性が苦しそう 64 番 女性のネックがもう少し伸びるといいです。72 番 右肩が上がって見える

76 番 右手を使いすぎる 85 番 ランニングウィーブの一步目が突っ込みすぎ 82 番

シャッセの時右肩が上がる 80番 音楽的センスがありホールドも自然でいいと思います。  
タンゴ

58番 プロムナードポジションになっていない 52番 左ホールドが外れて見える 55番 女性のネックがもっと伸びると 56番 セームフットの右足の位置がおかしい

63番 男女のポジションがずれる 60番 女性が一人で踊って見える 71番 右手で抱えすぎ

73番 右手の位置がずれている 77番 リンクが手でやりすぎ 69番 肩が上がって見える

83番 差サポーティングフットが見えない 88番 右サイドで踊りすぎ 81番 リンクの時に右サイドを引きすぎ

スローフォックストロット

15番 足の踏みかえが雑で動きが切れる 19番 スタートの時のポジションをとってから動いたほうがいいと思います。 62番 フェザーステップが突っ込みすぎ 67番 右肩が上がる頭が左に傾きすぎ 63番 後退のフットワークつま先でなく TH HT で 76番 足が浮く フェザーステップの1歩目 69番 男女のポジションがずれている 70番 動きが良く上体がリラックスしていい

79番 82番スタートの予備歩がいきなり出ている。テークバックをゆっくりとって

85番 女性はフェザーステップ フェザーフェニッシュの3歩目 男性は予備歩が雑  
B級ボールルーム(W T)

48番 表情が豊か好感持てる 45番 アウトサイドにリードする時右手を意識して 49番 アウトサイドチェンジの時の女性の位置が悪い 男性のロアがないからかな 24番 ネックが硬いスピンの時に力みすぎ 37番 バックホイスクの時のボディーの位置関係 30番 チェースの時の位置関係が悪い 47番 ファラウェイホイスクからのスピンの回転量不足

B級ボールルーム (4種目)

ワルツ

27番 ナチュラルターン右足の乗りが少ない 21番 ゆったりとした動きでいいトップも広く自然でいい 26番 トップが弱い 30番 P.Pの時にもう少し送り足から行くといい 32番 シャッセの時にボディーの移動量がもう少し欲しい 43番 スタート時のテークバックがもう少しありゆっくり大きく 38番 肩が力みすぎ

タンゴ

26番 左サイドを抜きすぎ 28番 右肩上がりすぎ 22番 女性のネックに位置が悪い 35番 左サイドの壁がない 37番 プロムナードの時の右足のサポーティングフットの為がない男性女性に合わせて棒立ちに見えるもう少し重心を低く 41番 シャッセの時上体が遅れて休んで見えるので積極的に進めるといいと思います。 44番 ラテンと一緒に積

極的で好感が持てるがもっと丁寧に 39番 コンパクトすぎるもっと躍動感があるといい  
スローフォックストロット

28番 女性のネックがもう少し下半身からゆったりと 25番 女性を抱えすぎ 45番  
フェザーステップ フェザーフェニッシュの時の左回転が平たんすぎる骨盤を意識すると  
いいと思います。29番 女性のボディートーンがない 41番 ナチュラルターンの時の男  
性のネックが右を向きすぎ早いと思います。 39番 女性の背中からネックにかけてもっ  
とシェイプをしたほうがいい

クイックステップ

24番 スピンの時の左足のフットワークが良くない 28番 バックロックの時の男性の腰  
が抜けて見えるロアがない 29番 男性の重心をもっと低く 32番 スピントーンを右で  
やりすぎ

47番 つま先だけでやって見えるヒールをもっと意識して

船体的に土踏まずの上で立って腸腰筋 背筋を意識して前後の動きを作って欲しいと思  
います。

A級ボールルーム

全体的に悪いところはシャッセ、アウトサイドチェンジ、ランニングウィーブ の3歩目  
オーバースウェイの左サイド、ファラウェイリバースの3歩目、オーバーターンターニ  
ングロックの1歩目等で体が落ちてしまい前に進む推進力に欠けボディーリズム ボディー  
トーンがなく足でやって見えます。練習して欲しいのは細かいタイミングの時の体の空間  
に対する位置認識がないので空間で踊る立体的な認識タイミング(3D空間)で踊って欲  
しいです。

それと男性の骨盤回りの筋肉を意識したスウェイをつけることによる立体的な運動を作り  
出し大きく見せることや、女性のヘッドウエイトを意識した男性や二人の立体空間の重み  
の掛け合い、男女のボディーウエイトのずれを利用したタイミングの取り方など考えた  
だけでも二人で作ります空間芸術などを追及して行ってほしいと思います。

以上、いろいろと書きましたがあくまでも自分の感想です。自分の踊りを作るのは最終的  
には二人なので二人で個性的な踊りを作って行って欲しいと思います。ダンスの理論にはこ  
れでいいという結論がないので日々の練習で新しい発見を見つけてください。